



20秒78を記録したU20日本選手権の予選

栃木県立佐野高等学校2年生  
陸上部

わか な けい  
**若菜 敬** さん

6月に行われた陸上大会「U20日本選手権」で優勝した、大平町在住の16歳、若菜敬さん。男子200m競技で全国の強豪大学生達を抑え、見事に日本一！予選ではなんと高2歴代3位となる20秒78をマーク。これは高校2年生時のサニブラウン選手、桐生祥秀選手に次ぐ記録です。陸上競技界のホープにお話を伺いました。

**やってみないと速さは分からない**  
U20日本選手権で全国の注目を集めた若菜さんですが、2週間後のインターハイ北関東地区大会でも、200m競技で優勝（100m競技も3位）と絶好調。8月初旬に開催されるインターハイ本戦の切符を掴み取りました。若菜さんが本格的に陸上競技に取り組み始めたのは、中学3年生の春。それからわずか2年後の快進撃は起こるべくして起こったのでしょうか？  
幼少時からサッカーや野球チームに所属するなど、スポーツ全般が得意だった若菜さん。陸上部だったお姉さんの影響で『自分も陸上をやってみよう』と思ったそうです。他のスポーツで、徹底的に俊足を活かす道もあったのではと聞くと「陸上を始めるまで、自分がどのくらい速いのか、よく分かっていませんでした。短距離走者としての実力は、競技で走ってみないと分かりません。」とのこと。

**好記録の秘訣は？**  
先日のU20日本選手権の予選など、好記録が出るレースとはどんな時なのでしょう。か。「体調も当然ですが、天気がよく走りやすいとか、速い相手と走れるレースでは、良いタイムが出せそうな予感があります。」  
また、記録の陰には凄い名コーチがいるのでは…と、聞いてみると意外な返答。「一番参考になっているのはYouTube（動画配信サービス）です。もちろん、たくさんの良い指導者に巡り合ったことも重要でした。でも、普段から一番手軽に参考にできるのは、有名な選手のレースを動画で見ること。何度も繰り返し見て、自分に研究し、走り方に取り入れてきました。」次世代のアスリートらしい、急成長の秘訣を教えてくださいました。  
陸上競技以外の趣味は、という質問には「ないです。」と即答！「今は競技だけで精一杯。ゲームなどをやる余力もないです。」とストイックな面も。  
**将来はオリンピックへ**  
今後の目標について伺いました。「まずはインターハイで、全国を勝ち上がってきた選手達と勝負し、優勝を目指すことです。将来的には、オリンピックの表彰台を目指せる選手になりたいです。」  
最後に、陸上競技の魅力とは。「走ることも自体楽しいし、各地で開催される大会を通じて、全国に友達が出ることも魅力です。挑戦する価値のある競技だと思っています。」



## 人権問題に関する市民意識調査の結果（調査基準日令和4年9月1日）

市民の人権に関する意識や、人権教育・啓発に関する意見等を調査し、人権施策の基本となる「栃木市人権施策推進プラン第3期計画」策定の基礎資料とするため「栃木市人権問題に関する市民意識調査」を実施しました。調査結果がまとまりましたので、一部をご紹介します。  
※市内在住の18歳以上3,000人を無作為抽出。そのうち1,123人が回答（回答率37.4%）。

### ●取り組むべき人権課題

重要と思われる人権課題については、下表のとおりです。

	調査対象		
	全体	男性	女性
割合が高い順	1 子ども (75.6%)	子ども (71.0%)	子ども (79.5%)
	2 女性・男性 (55.9%)	働く人 (55.3%)	女性・男性 (60.7%)
	3 働く人 (53.9%)	障がい者 (51.1%)	働く人 (53.4%)
	4 高齢者 (51.6%)	女性・男性 (50.2%)	高齢者 (53.1%)

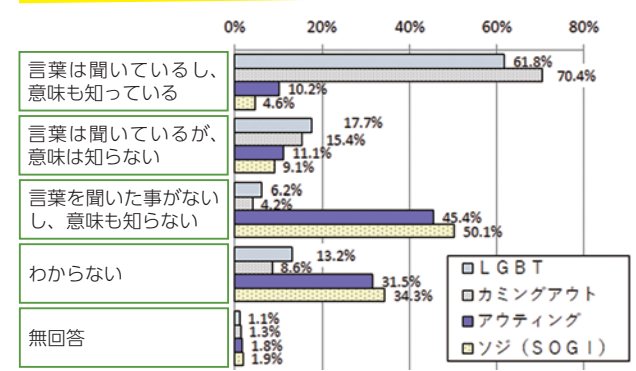
男性、女性ともに「子ども」に関するものが高く、次いで男性では「働く人」、女性では「女性・男性」に高い傾向が見られました。

「子ども」については、いじめや虐待、子どもの貧困、ヤングケアラーが問題視されており、将来を担う子どもの権利を尊重した取組みや支援が必要との意見がありました。

「女性・男性」については、性別・年代により、子育てや家事・仕事の両立に対する意識に差が見られました。「働く人」については、長時間労働や非正規雇用等の処遇、パワハラやセクハラなどが起こりやすい環境であること、女性や外国人に対する格差や処遇に関して課題が見られました。

▶それぞれの分野別人権課題に対し、積極的かつ効果的な施策の推進を図ります。

### ●性的指向や性自認に関する認知



性的マイノリティに関する言葉の認知については、「LGBT」「カミングアウト」では、「言葉は知っているし、意味も知っている」が6割以上であるのに対し、「アウティング」「ソジ(SOGI)」では、「言葉を聞いた事がないし、意味も知らない」が約5割でありました。

▶LGBT等の性的少数者の方々の生きづらさ解消のため、啓発・支援に努めます。

今回の調査結果 および 性的マイノリティに関する言葉の説明はこちらの2次元コードを参照ください⇒



### ●被差別部落に対する抵抗感

① H29年とR4年の調査結果（「近所の人」が対象）

調査年	回答	割合
平成29年	気になる	8.3%
令和4年	気になる	6.1%

② R4年の対象別の調査結果

対象	回答	割合
近所の人	気になる	6.1%
交際相手や結婚相手	気になる	16.0%
職場の人	気になる	3.7%

前回の平成29年の調査からは「気になる」と回答した人が減少していますが、交際相手や結婚相手に関しては、依然高い値となっています。

▶被差別部落に対する忌避意識が減少するよう正しい歴史認識と差別の禁止を発信していきます。

### ●人権尊重社会実現のための取り組み

“人権のまち”をつくるために必要な施策について、40%を超えるものは次のとおりです。

1. 学校教育・社会教育の充実・・・72.8%
2. 相談・救済のための機関や施設の充実・・・50.5%
3. 職場・事業所での人権尊重の取り組みの充実・・・43.6%

▶「子ども」「女性・男性」「働く人」「高齢者」「障がい者」などの現状課題の解決のため、学校、地域社会、職場等での積極的な教育・啓発と、相談・救済制度の充実にも努めてまいります。

▶この市民意識調査を基に、栃木市人権施策推進プラン第3期計画を策定し、このプランに基づき、人権尊重社会の実現を目指していきます。

問 人権・男女共同参画課 ☎(21)2161



## 「歌麿道中」 出演者募集



11月11日(土)～26日(日)に開催される、歌麿まつり。11月11日(土)には、喜多川歌麿が描いた世界をイメージした「歌麿道中」を開催。このイベントの出演者を募集します。  
**日時** 11月11日(土)8時～19時頃(衣裳着替え・練習時間を含む)※雨天時は11月12日(日)に延期のため、両日とも参加可能な方。  
**場所** 巴波川会場(塚田歴史伝説館付近)とちぎ蔵の街大通り会場(山車会館付近)(予定)

**応募方法** 募集要項の応募用紙(問合先、市ホームページ、歌麿協議会ホームページ〔上の2次元コード参照〕に設置)に必要事項を記入のうえ、問合先に郵送または直接応募。協議会ホームページからも応募可  
※詳細は募集要項を参照。応募者多数の場合は書類選考。  
**受付期限** 8月31日(木)必着

問 歌麿を活かしたまちづくり協議会事務局(蔵の街課内) ☎(21)2573

役柄	人数	応募資格	備考
おいらん	1人	20歳～35歳くらいの方、身長160～170cm前後	衣装の重量が15～20kgほどあるので、体力に自信があり、歌麿道中進行に係るご挨拶等に対応いただける方。
カムロ(子役)	2人	※和化粧に地毛で日本髪を結いますので、髪の毛が襟足から20cm以上、前髪が15cm以上、パーマ不可、髪の毛が長すぎる場合カットできる方、黒系の自然色の方限定。	
芸者	1人	小5～中学生までの方、身長140～150cm前後	かつらを着用。(または地毛)
新造	2人	20歳～50歳くらいの方、身長160cm前後	
女将	1人	18歳～30歳くらいの方、身長160cm前後	かつらを着用。短髪の方も可。
傘持ち	1人	35歳～60歳くらいの方、身長160cm前後	
傘持ち	1人	20歳～40歳くらいの方、身長170～175cm前後	大きな長柄の傘を持ちます。短髪で、当日髪色を黒系の自然色にしていただける方。
金棒持ち	2人	20歳～40歳くらいの方、身長160～175cm前後	短髪で、当日髪色を黒系の自然色にしていただける方。

※髪の毛の量が多い方(鎖骨または胸あたりより長い方)は、事前に髪のカットをお願いする場合があります。  
※衣装やかつらを着用しますので体力に自信のある方  
※10月21日(土)の事前説明会・かつら合わせ・おいらんの歩行練習に参加できる方